保健だより　内科検診号

大津市立真野中学校
令和７年４月１４日

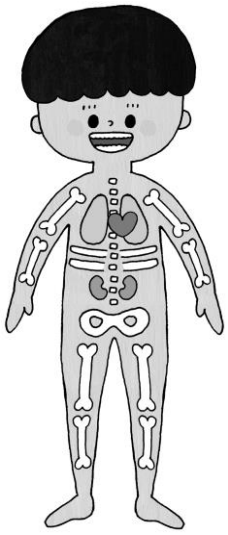
４月１５日（火)13時30分～

担当校医　越智医院　越智　眞一　先生

持ち物・服装

体操服　※髪の毛が背中にかかっている人は背中が見えるようにまとめましょう。

内科検診ではこんなことを調べます



１：栄養状態
- やせすぎていないか、肥満傾向はないかをみます。
- 顔色の様子をみます。

２：背柱
- 背骨は曲がっていないか、調べます。

３：胸郭
- 胸や肋骨などの形態、発育について調べます。

４：手足の状態
- 肘や肩、膝や腰など骨や関節に痛みや動きの悪いところがないかを調べます。

５：心臓・肺
- 聴診器を胸や背中に直接あてることにより、心臓の脈打つリズムや、呼吸した時の肺の音に異常がないか調べます。

６：皮膚
- 皮膚の病気（アレルギー疾患や湿疹など）がないかを調べます。

７：その他
- 視診・触診では、皮膚の病気や甲状腺の病気、骨格の変形などの有無を確認しています。

～　検診の流れ　～

① 保健室の中へは診てもらう人だけ入ります。

※性別等を考慮し、場所や時間を考え、別々に検診を行います。

※診察時には周囲から見えないよう、囲いやカーテン等により個別の診察スペースを確保します。

※診察の直前まで体操服や下着等の着衣などにより身体を覆い不必要な露出を避ける。など、性別を問わず対応を行っています。できる限りプライバシーに配慮して行いますが、個別の配慮が必要な場合は、事前にご相談ください。

② 学校医の先生にあいさつをし、自分のクラスと名前を言います。

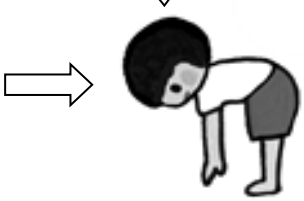
③ 先生の指示に従って検診を受けましょう。

栄養状態や皮ふの様子

心臓の音や呼吸の音
（聴診器で聞きます）

背骨の形や胸の骨、ろっ骨

背骨を見せる時は、両手を合わせて腰を前に曲げる。



★必ずお読みください。

健康診断の役割について

家庭における健康観察を踏まえて、「学校生活を送るに当たり支障があるかどうかについて疾病をスクリーニングし、健康状態を把握する」という役割と、「学校における健康課題を明らかにして健康教育に役立てる」という二つの役割があります。

環境整備

● すべての学年で男女別とし、衝立やカーテン等を利用し、児童生徒等の身体が周囲の目から遮断するよう環境を整えます。

● 学校医による診察の直前まで、体操服や下着等より身体を覆い不必要な露出を避けるよう配慮します。

正確な検査・診察を実施するために

● 聴診では、学校医が聴診器を皮膚に直接あて、心音や呼吸音を聞いています。

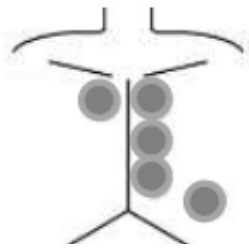
● ブラトップ（カップ付きのトップス）は聴診器を正確な位置に当てられないため、腹部までおろしてもらいます。

● 正確な検査・診察のため、必要に応じて、学校医が、体操服・下着等をめくって視触診したり、衣服等の下から聴診器を入れたりすることがあります。

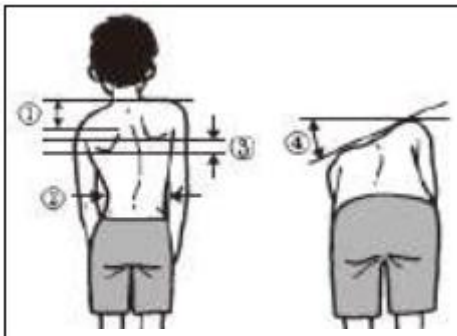
● 円滑な検査・診察実施のため、診察時に衣服等のすそをあげる等を教職員が行います。診察スペースには、養護教諭を除き、児童生徒等と同性の教職員が立ち会う等の配慮を行います。

● 皮膚の状態や甲状腺の病気、骨格の変形などの有無を確認する際には、学校医が直接皮膚の視触診を行います。

● 脊柱側弯症の検査では、保健調査票等の情報を参考に、背後から ①肩の高さ ②ウエストライン ③肩甲骨の位置に左右差がないか、体の前で両手の平を合わせ、上体をゆっくり前に倒した姿勢で④背中の高さの左右差がないかを確認してもらいます。支障のない範囲で下着等の着用は可能ですが、スポーツブラやブラトップのように、皮膚に密着し、皮膚を覆う面積が広い下着の着用は、正確な診断が困難となることがあります。



聴診器を当てる場所の例



①肩の高さ　②ウエストライン（脇線）
③肩甲骨の位置　④肋骨隆起